

栃木の国保

2021.1 NEW YEAR

vol. 71

■巻頭言

「安心」を確保する ― 国民健康保険制度の構築に向けて ―

■新年のごあいさつ

■メインテーマ

国保制度改善強化全国大会

■突撃ルポ 保険者みてある記

第129回 佐野市

水と緑にあふれる北関東のどまん中 支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市

■特別寄稿

第1回

特定健診受診率向上対策

― マーケティング×テクノロジーの活用 ―

栃木県国民健康保険団体連合会

目次

1 巻頭言



「安心」を確保する
— 国民健康保険制度の
構築に向けて —

高根沢町長 加藤 公博

2 新年のごあいさつ

栃木県国民健康保険団体連合会

理事長 広瀬 寿雄

栃木県

知事 福田 富一

栃木県医師会

会長 稲野 秀孝

栃木県歯科医師会

会長 宮下 均

栃木県薬剤師会

会長 渡邊 和裕

国民健康保険中央会

会長 岡崎 誠也

8 メインテーマ

国保制度改善強化全国大会

10 国保連協会長プロフィール

「国保制度の健全な運営のために」

国民健康保険運営協議会長 中山 富夫（足利市）

11 私の趣味と健康法

～旅のすすめ～

那須烏山市市民課 課長 皆川 康代

12 突撃ルポ 保険者みてある記

第129回 佐野市

水と緑にあふれる北関東のどまん中

支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市



16 特別寄稿

第1回

特定健診受診率向上対策

— マーケティング×テクノロジーの活用 —

株式会社キャンサーサキャン

ソーシャルマーケティング事業本部

増永 貴和

18 保健師活動報告

市民が健康に暮らす市の実現に向けて
— 健康教室と活動報告 —

さくら市 健康増進課 保健師 柿沼 美穂

20 保険者だより

しおや♡わくわく健活ポイント事業

塩谷町

21 ただいまこくほ最前線

蔵の妖精とち介推し！

栃木市 保険医療課 国保係 渡辺 美晴

韓国ドラマに夢中です

芳賀町 住民課 国保年金係 大根田 葉月

ワークライフバランスを大切に！

国保連合会 審査課 歯科担当 小野 由加里

24 リポート記事

令和2年度

国民健康保険運営協議会委員研修会

令和2年度保険料（税）

徴収事務担当者研修会（応用編）

令和2年度療養費適正化研修会

27 ホットひと息道の駅

道の駅 どまんなかたぬま

28 国保連合会からのお知らせ・編集後記

※特集記事「プロスポーツ選手から健康を学ぶ！」は
今回お休みとなります。
次号掲載予定です。

表紙説明

「小高い山に境内が広がる霧氷の中の磯山弁財天」



磯山弁財天は、天暦2年に藤原秀郷
が創建したと伝えられ、鮮やかな朱塗
りの本殿は鎌倉時代の再建で、全国に
ある弁天様でも珍しく山腹にあって釘
が一本も使われていない三層楼舞台造
りとなっており、市内を一望すること
ができます。その麓には日本名水百選・
県天然記念物の出流原弁天池があり、
驚くほど透き通り悠々と鯉が泳ぐ様は、
まるで鯉が宙を舞っている様です。

言 頭 卷

「安心」を確保する

― 国民健康保険制度の

構築に向けて ―

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかなる新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、医療や社会・経済活動に大きな影響を及ぼしました。未だ感染収束の兆しが見えない中、行政においても経済情勢悪化に伴う税収の減少が見込まれております。本町におきましても、住民の健康を守ることを最優先に考え、真に必要な事務事業を実施するとともに、引き続き感染症対策に取り組んでまいります。

国民健康保険は、我が国の「国民皆保険制度」の中核として、住民の医療の確保と健康の保持増進に大きく貢献してきました。しかし近年、加入者数が減少する一方で、高齢化や医療技術の高度化により医療費は増加の一途をたどっており、制度を巡る情勢は厳しさを増しております。こうした中、平成30年度に国保制度改革が行われ、国の財政支援が拡充されるとともに、都道府県が財政運営の責任主体となりました。新制度施行から4年

目となる本年は、「財政運営の都道府県単位化」の趣旨のさらなる深化が求められているところであります。加えて、今年3月から開始されるオンライン資格確認の本格導入など、制度を取り巻く状況は大きく変化しています。

本町では、平成29年度に、医療費抑制対策として、町一丸となって健康づくりを推進することを目的に「高根沢町健康づくりプロジェクト」が発足しました。その一環として実施した「ラジオ体操・みんなの体操講習会」等の取り組みが評価され、昨年にはラジオ体操優良団体等表彰を受賞しました。その他にも、保険税の収納率向上、医療費適正化などの取り組みを着実に進め、国保への「安心」の確保に努めているところでです。

さて、高根沢町では、「くらし 高まる たかねざわ」をキャッチフレーズに、さまざまな事業を展開しております。昨年4月にリニューアルオープンした「道の駅たかねざわ 元氣あっぷむら」においては、宿泊やキャンプ体

験を楽しむことのできるグランピング施設や、道の駅の機能と情報発信の機能を併せ持つ施設を活用し、「ここにしかない空間」を創出しています。また、令和の大嘗祭において本町のお米が献上されたことに注目が集まる中、献上米「とちぎの星」を用いた地域資源の認知度向上にも取り組んでいます。「希望の持てるまちを後世に引き継いでいく」ことをまちづくりの基本理念とし、各種施策を推進してまいります。

高根沢町長

加 藤 公 博



新年のごあいさつ

国保の安定的運営に向けて

栃木県国民健康保険団体連合会

理事長 広瀬 寿雄



新年明けましておめでとうございます。

令和3年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

旧年中は本会の事業運営につきまして、格別のご理解とご協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、国難とも言うべき事態に見舞われました。保険者の皆様におかれましては保険料の減免や傷病手当金の対応など国保制度における各種取り組みはもとより、様々な対応に尽力をいただき心から敬意を表しますとともに、一日も早くコロナ禍が収束することを願っております。

さて、国保制度を取り巻く環境は、生産年齢人口の減少、高齢化に伴う社会保障費の増加など構造的な問題

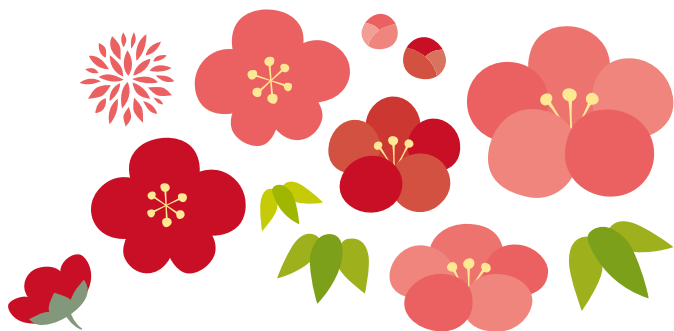
などにより、依然として厳しい状況が続く中、国においては誰もが安心できる全世代型社会保障制度への転換を目指し、社会保障全般にわたる改革が進められております。

また、「健康保険法等の一部改正」により、本年3月からスタートするオンライン資格確認の導入をはじめとして、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、審査支払機関の機能強化等が段階的に進められることになっております。

本会といたしましては、法に定められた役割を十分に果たしていくとともに、業務の効率化を図り、本年度より本事業として実施しております「重複服薬等訪問指導等支援事業」をはじめ、保険者が取り組む地域住民の健康づくりや医療費適正化の支援など、更なる充実した事業運営に努めて参ります。

今後も、より一層、保険者の皆様との密接な連携を図るとともに、保険者の共同目的達成機関としての役割を果たして参る所存でございます。

会員の皆様におかれましては、今後とも更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご多幸とご発展を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”

栃木県

知事

福田 富一



栃木県国民健康保険団体連合会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃から、国民健康保険事業の円滑な運営に格別の御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、世界に拡大した新型コロナウイルス感染症は、あらゆる社会経済活動に大きな影響を及ぼしており、県民生活や地域経済は先の見えない不安と危機の中にあります。現下の感染状況や経済動向等を的確に見極めながら、県民の命と健康を守り、県民生活や地域経済への影響の最小化を図るため、必要な対策に万全を期して参ります。

また、令和元年東日本台風で受けた甚大な被害からの復旧・復興に着実に取り組むとともに、気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害に備え、災害対応力の更なる強化を図って参ります。

現在、県では、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に続き、令和3（2021）年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ未来創造プ

ラン（仮称）」の策定を進めております。プランに掲げる本県の目指す将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気なとちぎ」の実現に向け、「人材育成」、「産業成長」など5つの重点戦略により、とちぎの未来を担う人づくり、未来技術を活用した次世代産業の創出・育成、県民の健康づくり、防災・減災対策など、新しいとちぎのかたちを描き、次の世代につなげる取組を積極的に推進して参りたいと考えております。

今年の夏には、1年延期となった東京2020オリンピックピック・パラリンピック競技大会が開催され、来年には、本県で第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。これらの成功に向けて、県民の皆様をはじめ、市町や関係機関等と連携して、万全の準備を進めて参りますとともに、開催を契機として、本県の魅力・実力を国内外に効果的に発信することにより、栃木県の魅力を広めていただく「栃木ファン」の

創出・拡大に努めて参ります。

国民健康保険につきましては、平成30（2018）年度から県と市町が一体となって国保事業を実施することに伴い統一の方針として策定した「栃木県国民健康保険運営方針」を、昨年12月に改定しました。改定後の運営方針では、引き続き、国保財政の将来的な見通しや納付金の算定方法など財政運営に係る基本的な考え方を示すとともに、国保財政の改善に向け、市町における収納率の向上や医療費の適正化などの取組を推進することとしております。

改定にあたり、多くの皆様に貴重な御意見、御助言を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。今後も同方針に基づき、安定的な財政運営並びに市町の国保事業の広域的及び効率的な運営の推進を図るよう取り組んで参りますので、引き続き皆様の御協力をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

世界の冠たる国民皆保険制度を堅持しつつ 改善強化に向けて全力を尽くす

栃木県医師会

会長 稲野 秀孝



新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、栃木県国保連合会会員の皆様には日頃から本会の運営に對しまして、ご協力とご支援いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、とりわけ感じますことは、新型コロナウイルスの感染が中国湖北省の武漢で報告されてから、半年あまりで世界的大流行（パンデミック）を引き起こし、特に国内ではフェイスシールドやガウン、マスクなどのPPE不足がおこりました。また楽しみにしておりました2020年東京五輪・パラリンピックが1年延期となり、果たして本年夏の開催も不透明なまま中止のリスクが燃っています。

中央では、8月28日の安倍晋三総理の辞任に伴い、7年余り官房長官として支えてきた菅義偉氏が「安倍政権の継承と前進」を訴えて9月16日菅義偉内閣が発足しました。菅義偉総理は、新型コロナウイルスへの対応と経済再生を最優先にしつつ、行政の縦割り、既得権益、あしき前例主義の打破や携帯料金引き下げ、政府のデジタル化、地方銀行の再編

促進など掲げており、それらの具体的な課題ごとに「一点突破」する戦略を描くとしております。

ところで、国民健康保険を取り巻く状況は、急速な人口の高齢化、低所得者の増加、医療技術の高度化等、様々な要因が重なり、国保財政は大変厳しい状況にあります。国民健康保険は、被用者保険とともに国民皆保険の一翼を担う地域保険であり、国民健康保険制度の基盤をなす柱であります。本会は医師と家族・従業員等からなる医師国民健康保険組合を運営しておりますが、平成28年度から被保険者の所得水準の高い国保組合の国庫補助が段階的に削減され、今年度は5段階目の最終年度となり補助率が13%になります。毎年国庫補助金が3・8%減り、被保険者が減少傾向する中、さらに組合員の高齢化が進んでいくという状況は、全国の国保組合が抱えている課題であります。

ご存じのように国民健康保険は、被用者保険と比べて中高年齢者が多く加入し医療費が増加する一方、保険料負担能力が弱い方々の加入割合が高いという

構造的な問題を抱えており、特に保険料の滞納者が増加し、厳しい財政運営を迫られております。厚生労働省が公表した平成30（2018）年度国保収納率によると、全国平均92・85%ですが、本県は90・65%にとどまり、6年連続で「全国ワースト2」の46位となっております。

皆様方には、このような厳しい状況のなか、国保の健全な運営を図るため、日夜ご精進・ご努力をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

わが国の社会保障を取り巻く環境は、少子高齢化と人口減少、財政事情に加え、働き方改革をはじめ、さらに新型コロナウイルス感染症という未曾有の驚異を前に、かつてなく厳しい情勢にあります。

最後の砦であります国民健康保険のこうした諸課題の解決に向けて、座して待つのではなく、関係団体の皆様と十分に連携を図りながら、世界の冠たる国民皆保険制度を堅持しつつ改善強化に向けて全力を尽くすことを心からお誓いして、新年のご挨拶といたします。

コロナ禍の中保険料の免除措置を実施、 被保険者の擁護及び保険者機能を強化

栃木県歯科医師会

会長 宮下 均



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、歯科医師会・歯科医師国保組合に対しまして、特段のご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により人類の歴史に大きな変化が生じてしまいました。1月の国内第一例目の感染者発生から栃木県においても2月22日に最初の感染者が発生しました。その後4月の緊急事態宣言の発令、第2波、第3波と一年中猛威を振るい続けました。半世紀ぶりの東京オリンピックも一年後に延期となり、スポーツ界では無観客試合や人数制限を設けるなどウイルスに対する感染対策が必須となりました。新型コロナウイルスの流行による社会的・経済的な影響は当面最も深刻な問題として継続すると思われます。

7月には熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生いたしました。毎年発生する自然災害への防災意識を高め災害対策の強化に尽力することが重

要です。政局においては安倍内閣から菅内閣へバトンが渡され、米大統領選挙ではトランプ大統領がバイデン候補に敗れました。今後の日米関係に注視してまいりたいと思います。

社会保障制度については、平成30年度から新国保が開始されましたが、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和2年度の当初から受診抑制が進み医療費の減少傾向が続いております。制度改革後にこの重要な役割を担いつつ、コロナの対応も果たしておられる国保連合会に対し敬意を表します。

歯科医師国保組合においても、コロナ禍の中保険料の免除措置を実施し被保険者の擁護及び保険者機能の強化を図っているところで

す。さて歯科医療現場では、スタンダードプリコーションを遵守し感染対策を講じています。また、県民へ日常生活における感染防止について、ウイルス感染に口腔健康管理が有効であることを踏まえ、日常生活での口腔健康管理、歯磨

き、舌磨きなどの励行を提唱しております。

歯科医師会は、歯科医療を通じてこれまで以上に健康寿命の延伸に寄与できるよう貢献してまいり所存ですのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新春に際し、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、国保連合会のますますのご発展を祈念し、新年のご挨拶いたします。



県民の健康増進に努める

栃木県薬剤師会

会長 渡邊 和裕



新年明けましておめでとうございます。

栃木県国民健康保険団体連合会の皆様におかれましては、日頃より本会会務にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに本会会員が大変お世話になり感謝申し上げます。

昨年は、年初より中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症が世界を震撼させました。

我が国においては、日本に帰港したクルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」の船内クラスターが日本中を不安にさせました。

その後、同ウイルスの蔓延は、昨年4月7日に全国緊急事態宣言が発令されるまでに拡大しました。さらに、昨年秋からの「第三波」とみられる同ウイルス感染症の広がりに対し、引き続き、困難な医療体制のもとで治療に当たる医師ら医療従事者

の方々に敬意を表するとともに、国民の健康を保険面でサポートする貴連合会のご活動に深く感謝申し上げます。

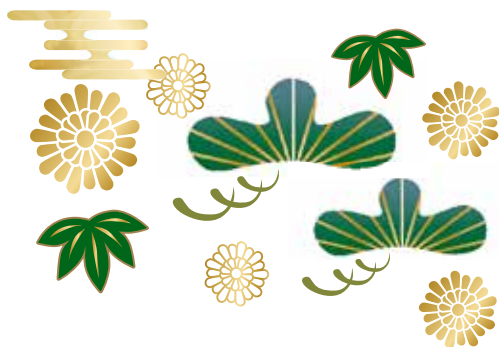
また、同ウイルス感染症の拡大による「自粛生活」は、日本の経済にとりダメージが大きく、それとともに、受診を控えることによる患者さんの健康への悪影響も懸念されています。ましてや、高齢者が外出を控えることによる体力の低下、さらには、フレイルへの進展も心配されます。

私ども薬剤師会も地域の患者さんに対して受診勧奨を含め県民の皆様の健康増進に努めてまいります。

また、貴連合会とは引き続き、「市町健康まつり」でのお薬相談のお手伝い等共同で取り組んで行く所存です。重複服薬者訪問指導等支援事業は、今年も引き続き連携させていただきたくお願い申し上げます。

今年もコロナウイルスとの戦いが続くと思われます。「Withコロナ」「新しい生活様式」を受け入れ、貴連合会の皆様と協力して国保被保険者様が生涯元氣な生活を送れるようお手伝いさせていただければ幸いです。

結びに、栃木県国民健康保険団体連合会の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

「ウィズコロナ時代」を 共に乗り越えてゆく

国民健康保険中央会

会長 岡崎 誠也



新年あけましておめでとうございます。
令和3年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には日頃から国保中央会の運営に對しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、世界中が大きな被害に見舞われました。

最前線で治療や感染防止策に懸命に取り組んでおられる医療関係者や自治体関係者などの皆様に敬意を表しますとともに、各地でお亡くなりになられた方々のご冥福と、感染されました方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

我々、国保関係者においては、国民の健康と命を守る国民皆保険の一翼を担う重要な立場から、本年におきましても国保事業はもとより、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする様々な事業の実施に万全を期してまいります。

さて、本格的な少子高齢化と人口減少が進む中で、国においては、すべての世代が安心感と納得感の得られる「全世代型」の社会保障制度への転換をめざし、これを将来の世代にしっかりと伝えるべく、様々な改革を進めているところであります。

医療分野においては、後期高齢者医療制度の見直しや医療提供体制の改革に加えて、マイナンバーカードを使い、患者さんの最新の保険資格をその場で自動的に確認できるオンライン資格確認制度が本年3月からスタートする予定です。

本会はこの制度のシステム開発と運用に携わっておりますが、この仕組みを活用したデータヘルス改革の様々な取組が始まることとなっております。

一方、国保を取り巻く状況は、医療費の増高や低所得者の増加といった構造的な問題が依然として続いており、さらに新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、国保の被保険者の保険料減免の増加なども見ら

れ、国保の事業運営は今年も厳しい状況が続くことが見込まれます。

本会といたしましても、全国の国保連合会の皆様とこれまで以上に一体となり、全国知事会、全国市長会、全国町村会をはじめとする地方団体や国保組合、後期高齢者医療広域連合などの関係団体とも十分に連携を図りながら、保健事業はもとより、医療費の審査支払や事務処理システムの開発・運用など、保険者の皆様の業務支援に総力をあげて取り組み、この「ウィズコロナ時代」を共に乗り越えてゆく所存でありますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍が早期に収束し、新しい年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となることを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



国保制度改善強化全国大会

国保中央会や都道府県国保連合会など、国保関係9団体は、11月13日、東京都・砂防会館（シーエンパッサ・サボ）にて「国保制度改善強化全国大会」を開催し、「医療保険制度の一本化を早期に実現すること」など10項目の決議を満場一致で採択した。決議には、国保の財政基盤強化のための公費投入を確実に実施すること、普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能を今後も維持し、見直しを行わないことなどが盛り込まれた。大会終了後には、決議の実現に向け、政府・政党関係者や地元選出国会議員への陳情を実施した。

全国の国保関係者が参集して開催される本大会は、今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、例年より規模を縮小しての開催となり、平井伸治全国知事会代表（鳥取県知事）の開会の辞で開幕した。

平井知事は、「新型コロナウイルスが日本中を席巻している中、地域の医療、健康及び命を守ることが我々の務めである」とし、「新型コロナウイルスの死亡者数が他国より抑えられているのは、国民皆保険制度があるからこそである」と述べた。また、国保制度の安定化については、「毎年の



▲開会の辞を述べる
平井伸治 全国知事会代表

3400億円の公費投入は当然行われるべきもの」と述べ「保険制度全般に対して、国は責任を果たしてもらいたい」と訴えた。最後に「国保があるからこそ、日本の医療は守られている」と力強く述べた。

次いで主催9団体を代表して、岡崎誠也国保中央会会長（高知県高知市長）が挨拶を述べた。挨拶のなかで、新型コロナウイルス感染症に対し、国を挙げて対策が取られていることについて、「国民皆保険の一翼を担う重要な立場から万全を期したい」と述べた。

また、国保制度は、「施行以来『相扶共済』の精神のもと国民皆保険制度の中核を担ってきたが、国保の抱える構造的課題により、国保運営は極めて厳しい状況が続いている」とし、「多数の保険者では、一般会計からの多額の繰り入れを余儀なくされ、制度崩壊の危機的状況が続いてきた」と述べた。さらに、「国からの更なる財政支援



▲主催者挨拶を述べる
岡崎誠也 国保中央会会長

続いて、全国町村会を代表し、坂口博文町長（徳島県那賀町）が、「組織の総意を結集して、本大会の決議の実現に向け、断固邁進することを誓う」と大会宣言を読み上げた。

その後、来賓挨拶として樽見英樹厚生労働省事務次官、馬場竹次郎総務大臣官房審議官、磯崎仁彦自由民主党政務調査会長代理、岡本充功立憲民主党政務調査会長代理が登壇し、祝辞を述べた。

挨拶後、議事に入り、議長団に太田長八町長（静岡県伊豆町）、下地敏彦市長（沖縄県宮古島市）、坂口博文町長（徳島県那賀町）を選出。下地市長が10項目の決議文を読み上げ、大会の総意として満場一致で採択した。

閉会の辞は、全国市議会議長会を代表し辻泰久富山県黒部市議会議長が務め、「決議の実現に向けた実行運動の展開と、実りある成果をあげられるように期待する」と述べ、大会は閉幕した。

また、財務省より提案のあった、「生活保護受給者を国保に加入させる提案」については、「国保の更なる財政悪化を招く要因となることから、国保事業の運営者として強い懸念を表するとともに、社会保障の根幹にかかわる問題であることから容認できない」と強く訴えた。最後に、「本大会では当面の重要な課題の解決にむけた決議を行い、国に対して決議内容の実現を強く求めたい」と訴えた。

―決議―

本日ここに、全国の国民健康保険関係者が一堂に会し、国民健康保険が直面する諸問題の改善を期して、国保制度改善強化全国大会を開催し、慎重審議した結果、次のとおり満場一致これ

を採択した。
国は、国民健康保険制度の現状を踏まえ、次の事項を必ず実現されるよう本大会の総意をもって強く要望する。

記

一、医療保険制度の一本化を早期に実現すること。

一、国保の財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施するとともに、保険者努力支援制度等が有効に活用されるよう、財政支援の充実を図ること。

一、普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能は、今後その機能を維持し、見直しを行わないこと。

一、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すため、公立病院等の医療提供体制や国保制度の安定的な運営が確保できるよう、地方自治体及び国保連合会に対して必要な支援措置を講じること。

一、後期高齢者医療制度の窓口負担の見直しについては、必要な医療への受診抑制につながらないよう、低所得者に十分配慮すること。

一、子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担減額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料（税）の軽減制度の創設を行うこと。

一、生涯にわたる健康づくりや高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を推進するため、保健医療専門職の確保やKDBシステム等を活用した保健事業への支援を更に充実させること。

一、医師をはじめとした医療・介護人材の確保、地域偏在の解消のため、必要な措置を講じること。

一、オンライン資格確認システム等の円滑な実施やデータヘルス改革の推進に当たっては、国の責任において財政支援をはじめ必要な措置を講じること。

一、国民健康保険組合の健全な運営を確保すること。

右 決議する。

令和二年十一月十三日
国保制度改善強化全国大会



足利市

なか やま

中山

とみ お

富夫

栃木県の南西部に位置する足利市は、北部を山々に抱かれ、市の中心部を渡良瀬川が東西に流れる自然豊かな街です。夕暮れ時には森高千里さんの「渡良瀬橋」にあるような、「夕日がきれいな街」が目の前に広がります。

近年は「映像のまちあしが」として多くのドラマや映画の撮影も行われ、スクランブル交差点を再現したセットを使用している撮影など、多くのメディアに取り上げられました。

スマートウエルネスシティを掲げる足利市は、昨年4月にスマートフォン版健康マイレージ「足（あし）すと」を開始しました。多くの方に参加いただき、コロナ禍でも「密」を避けて取り組めるウォーキングで運動不足を解消する市民が増加しており、生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまちを目指しています。

今年には市制100周年を迎えるにあたり、「プロジェクトA100」の名のもとに、足利市の持つ歴史や文化を内外に発信し、未来へのメッセージとなるような様々な事業を企画し、実施してまいります。

さて、本市の国保運営協議会会長を務める中山富夫氏は、平成23年6月から現職を務め、平成25年4月から県内25市町

の会長で組織される栃木県国保運営協議会会長の会長として、国保事業の運営にご尽力をいただいております。また、足利市議会議員として現在7期目在職中であり、その間に市議会議長、監査委員、農業委員を始め、幅広い分野において要職を歴任し、ご活躍をされています。

制度改革により、県が市町とともに国保の運営を担うようになってから早くも4年目になろうとしておりますが、今後も持続した財政基盤の安定化を図ることが重要となります。

また、3月からはマイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになり、被保険者の利便性が高まるほか、医療機関等においては資格をオンラインで確認できるなど、国保におけるデジタル化が図られていきます。会長におかれましては、健康にご留意いただき、これまでの豊富な経験と知識を活かして、市民が安心して健康に暮らせるまちづくりのため、なお一層のご活躍を期待しております。

会長の一言

「国保制度の健全な運営のために」

国保制度は、被保険者の高齢化や医療技術の高度化等による医療費の増加に伴い、歳入の確保と医療費適正化などの積極的な取り組みが求められています。

運営協議会として保険者業務を支えると共に、ジェネリック医薬品の使用促進や特定健康診査等の受診率向上など、関係機関と連携を密にし、健全な運営に努めてまいります。

私の趣味と健康法 旅のすすめ



那須烏山市 市民課
みな かわ やす 代
課長 皆川 康代

「いくつになっても心身ともに健康で元気に暮らしたい」と切に願う年齢となってきました。公務員としての生活もあと数年です。

さて、私の趣味と言いますか楽しみの一つが海外旅行です。始まりは数十年前



↑カンボジア・アンコールワット日の出



↑クメール宮廷料理

のツアー旅行でした。もっとゆつくり観光したい、自分好みの旅をしたいと、自分で計画を立て始めたことがきっかけです。そこからどんどん海外旅行の魅力にハマっていききました。行ったことのない国、見たことのない景色に思いを巡らせ、行き先を決めた時から旅が始まります。行く前からワクワク楽しくて、いつの間にか日々の忙しさやストレスが軽減されていくのです。日常から離れ国外を旅することで、自分の知らないことの多さに気づかれ、未知だからこそ感動や新鮮な体験が押し寄せてきます。興味深い

異文化、遺跡旧跡、現地ならではの食事、住民や渡航者など多くの人との出会いが価値観を広げ、癒され、心にゆとりを与えてくれることを毎回実感しています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、国外を旅することは当分叶いません。その分、今まで以上に健康に

対して考える機会が増えました。「健康法」と言える程のことではありませんが、毎晩体重計に乗り体重や体脂肪等を確認することが日課となっています。食べ過ぎを防ぐためという単純な動機で始めずに数十年になります。現在まで、大きな体重の変化はありませんが、ここ数年は、運動不足から体脂肪が増え筋肉量が減りつつある状況になっていました。このままでは旅行を楽しめないと不安を感じ、1時間程度のウォーキングを継続しています。

いつかまた、楽しく国外を旅することができるよう、これまで以上に健康に気を使い、充実した毎日を過ごしていきたいと感じます。

↓タイ・バンコク・ワットアルン



みなさんも心に余裕がなくなったとき、日常に疲れたときはぜひ、旅に出かけてみてください。日帰りのドライブにもたくさん癒しや幸せを感じることができると思います。



↑カンボジア・アンコールトム石像群



第129回

佐野市

突撃ルポ

保険者_{みてある}記_寺

水と緑にあふれる北関東のどまん中
支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市

佐野市

佐野市は東京中心部から70km圏内の栃木県南西部に位置し、人口は約12万人、面積は約356km²。

北部は、足尾山地の緑豊かな森林や清流など自然環境に恵まれた中山間地域、南部と西部は、アウトレットモールをはじめとした商業施設や7つの工業団地を拠点とする産業基盤が集積した都市的地域と農業が展開する地域となっています。

市内には2本の高速自動車道が

交わり3つのICが設置され、4つ目となる出流原PA・スマートICの整備も進んでいることや、高速バス交通のハブ機能を有する佐野新都市バスターミナルには東京だけでなく東北・近畿方面や成田空港・羽田空港行きの路線も乗り入れていることなど、高速交通の要所となっているほか、鉄道交通においてもJR両毛線、東武佐野線が通り、首都圏へのアクセスも良好な立地となっています。

一方で、県立公園にも指定されている唐沢山や三轟山、日本名水百選に選ばれた出流原弁天池湧水をはじめとした豊かな自然、天明鋳物や国指定史跡唐沢山城跡など現在まで連綿と守り伝えられた文化と歴史が息づくまちでもあります。

最近では、唐沢山山頂に鎮座す



る唐沢山神社に祀られた藤原秀郷公がルーツとされることに由来する「佐藤さんのふるさと」のまちとしてPRを展開しています。

ご当地グルメとして、全国的にも有名な「いもフライ」「佐野らーめん」の他、最近ではソースが香る「佐野黒から揚げ」が新名物となっています。「佐野らーめん」は、将来の後

継者不足という課題があり、今後も文化を継承していくため、令和2年11月に「佐野らーめん予備校」を設立し、店主と開業希望者を繋ぎ、佐野市への移住と起業を支援するプロジェクトを行うなど、地域発展にも努める佐野市を訪ね、保険税収納率向上や保健事業の取り組みについて伺った内容を紹介します。



佐野ブランドキャラクターさのまと佐野厄よけ大師

医療費適正化の取り組み

まず初めに、医療保険課のみなさんにお話しを伺いました。保険者努力支援制度の評価指標に係る取り組みについて、「市内の医師会・歯科医師会・薬剤師会協力のもと、特定健診受診勧奨や後発医薬品利用等のグッズやチラシの作成及び配布、横断幕や懸垂幕等を掲示しています」と話し、国保財政の安定的運営を目指し、様々な啓発活動を行い市民の健康意識の向上と医療費適正化を図っているそうです。

また、第三者行為求償事務としては、「国保連合会から送付される未受託案件一覧表をもとに、医療機関を通して被保険者に被害届の提出をお願いしています。より円滑に実施するためには、医療機関等との連携強化や被害届の提出促進が必要と考えています」と話されます。

全庁的な事業の実施に向けて

平成30年度に医療保険課に保健師が配置され、「健康まつりや運動教室、マイレージ事業など、ポピュレーションアプローチ的な健康増進事業については健康増進課で行い、レセプト情報が確認できる医療保険課では重複頻回受診者等訪問指導、糖尿病重症化予防事業などのハイリスクアプローチを行っています」と話し、事業のすみ分けをしているとのこと。



↑ 庁舎に掲げられた横断幕

更に、「現在、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の令和4年度開始に向け、4課6係が関係する全庁的な事業として関係課間で調整を続けています」と話し、課をまたがることから、横の連携を密にして取り組む姿勢が感じられました。

特定健診の受診率向上

保険者努力支援制度の評価指標の中でも、現在マイナス算定となってしまう特定健診の受診率向上については、特に力を入れているといいます。「令和元年度から集団健診・個別健診を無料化したことにより、病院の先生



↑佐野市で作成している「健診スタートブック」



▲医療保険課のみなさん
(左から須長主事補、湯本主任、村上主事補、川田係長、関塚主査)

方からは通院している患者さんにも健診受診を勧めやすくなったとの声も頂いています。それでもなお、通院している方の健診受診には伸び代があるため、ワンステッパ踏み込んだ取り組みが必要と考えています」と、課題をあげながらも、「今年度栃木県が実施する『かかりつけ医との診療情報連携モデル事業』に参加しています。佐野市では1,000人程が対象となっているため、少しでも受診率が上がればと考えています」と新たな事業に期待を寄せます。

このように医療保険課では従来の業務に加え、疾病予防や健康づ

くり等の保健事業関連業務へシフトチェンジしてきたといえます。

受診場所の多様化

続いて、特定健診・特定保健指導の取り組みについて健康増進課のみなさんに伺いました。「各種受診券とクーポン券、健診案内などを一冊にまとめた『健診スタートブック』を全対象者へ送付しています。また、集団健診と診療開始時間前に小集団で実施するはやおき健診は健康増進課への予約、個別健診は市内に約50か所ある協力医療機関に予約・受診していただく形で実施しています」と話し、土日・祝日の日程や女性のみを受付日、夏季の早朝受付日を設けるなど、試行錯誤しながら多くの市民が受診できる環境を整えているとのこと。なかでも、今年度はオンラインモール佐野新都市で実施し、受診後にそのまま買い物や食事に行けることから、受診者から好評

を得ているそうです。

コロナ禍中の実施

今年度の健診実施状況については、「集団健診の実施が難しい点がありますが、今年度も一人でも多くの人に受診していただけるよう、開始時期を一カ月遅れた形で実施上限人数を定めて実施しています。更に、受付前の検温・コロナ用問診票を使用しての体調調査を基に当日の実施の判断をしています」と実施にあたり、感染症予防対策に努めているといえます。



▲健康増進課のみなさん
(左から野尻主査、田中主査、伊東係長、上岡主任、篠崎技師)

実施率向上による新たな課題

受診率が低迷し、特定健診特定保健指導実施計画の目標値と現状の乖離が大きい佐野市ですが、取り組みの効果から平成29年度には22・9%であった受診率が、令和元年度には27・9%と3年間で約5%も上昇しています。

しかし、それに伴い対象者が増加傾向にある特定保健指導については、「前年度までの参加を理由に断られるケースが増加しており、リピーター対策と体制や周知の部分の見直しを行っていかねければならないと考えています」と現在の課題もお話いただきました。

“佐野市に住んでよかった”を目指して

今後の抱負を伺ったところ、「健康づくりを通して、最終的には『佐野市に住んでよかった』と思ってもらえるきっかけをつくり、市民の心の豊かさに繋がればと思っています」

います」と話され、数値だけに捕らわれず、市民の健康に繋がる業務に努める前向きな姿勢を感じました。

保険税滞納の早期防止

保険税については、収納課と医療保険課のみなさんにお話しを伺いました。

まず、医療保険課では、「収納率向上対策として毎年一斉更新前の6月に、8月以降短期証になる可能性のある世帯に納付案内を送付し、それでも納付が無い場合は、特別な事情を確認する通知を送付しています。収納課と連携しながら行っている臨戸訪問は今年度の実施は控えています。滞納者と接触する機会を積極的に作っていただきます」と、市民に寄り添った形で新たな滞納を防止するよう努められているとのことでした。

また、日本語による制度の説明が難しい外国人被保険者に向けた

取り組みとして、「佐野市のホームページは全部で7カ国語の言語の設定が可能となっています」と話し、国保の概要が書かれたリーフレットに佐野市ホームページのQRコードを掲載し、併せて確認してもらうことで、国保制度への理解を深める取り組みを行っているとのこと。

PayPayによる収納率向上への期待

収納課の取り組みとしては、「納税相談員を配置し、滞納者への臨戸訪問を行う他、今年度からはバーコードを読み込むことで簡単に納付が可能となる、PayPayを導入しました」と、納税しやすい環境を整えることで収納率の向上が期待されます。

様々な業務を通じて、市民の健康と健やかな暮らしを支える佐野市。市民が住みやすいまちづくりへの取り組みを知ることができた取材となりました。

◎佐野市の概況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
総人口(人)		119,348	118,450	117,706
総世帯数(世帯)		51,122	51,379	51,872
国保被保険者	加入世帯数(世帯)	17,965	17,355	17,205
	被保険者数(人)	29,523	28,000	27,349
	被保険者加入率(%)	24.8	23.6	23.2
保険料(税) 収納状況(現年分)	一人当たり調定額(円)	106,739	97,959	96,951
	収納率(%)	92.8	93.6	93.3
一人当たりの療養諸費費用額(円)		325,841	329,313	341,817
特定健診・特定 保健指導の状況	特定健診受診率(%)	22.9	25.4	27.9
	特定保健指導実施率(%)	24.5	18.7	16.3

口座振替 受付中!!
キャッシュカード1枚で
申し込みできます



佐野市職員 考案
バイジロ口座振替推進キャンペーンガール
「おさまるこ」



▲医療保険課 仲山主事

©るみこ

特定健診受診率向上対策 《マーケティング×テクノロジーの活用》(全2回)

株式会社キャンサースキャン 増永貴和

人々はどのように考え受診行動を起こしているのでしょうか？健診を受けようと考え、実際に行動するまでにはいくつかのステップがあります。適切なメッセージを活用した適切なタイミングでの個別勧奨により、受診行動を起こす最初のきっかけを作ることが可能で

分類し、インタビュー調査からわかった個々のグループの心理特性をふまえて、ソーシャルマーケティングのノウハウを活用したメッセージにより、受診行動を促す勧奨資材を作成しています。

1. コール・リコール

従来のコール（受診勧奨）の後に、再度受診のお勧めをするリコール（再勧奨）は既に多くの自治体で実施されており、受診率向上が報告されている施策です。期限内に受診行動に移ってもらうには「きっかけ」が必要ですが、リコールはこの「きっかけ」を提供するため

の施策であり、できるだけ多くの方へ2回以上の個別勧奨を実施することが受診率向上に寄与すると考えられます。この際、各回の勧奨間隔を2ヶ月程度空けることで、同じ勧奨が何度も来たという印象

を和らげることができます。

また、勧奨すべき時期の考え方は2つあります。1つは、人を集めたい集団健診の申込締切から2週間ほど前に発送することで「受診を忘れにくく、後回しにしない」タイミングを狙う考え方。もう1つは、すでに健診受診者が多い時期に向けて発送し「健診といえば〇月」のような規範意識を醸成する考え方です。ただし、会場や医療機関のキャパシティや混雑緩和などの注意・配慮も必要です。

2. 受診確率・反応確率の活用

受診勧奨して効果が高いのは誰かを個別に割り出し、優先度の高い順に並べることで、限られた予算の中で効率的に勧奨することができま

す。例えば、過去5年間のA市の特定健診結果から人工知能による分析を行い、受診確率と反応確率を算出した場合、左表のようになります。この結果、受診確率の高いAさんとBさんについては、何もしなくとも受診する可能性が高いと考えられます。また、受診確率が50%未満または反応確率が10%未満となるGさん以下3名については勧奨による受診の可

特定健診の心配、すべて晴らします。

1. どんな病気がわかるの？
健康診断、がん検診、生活習慣病など、早期発見・早期治療のチャンスです。

2. 病気が見つかったら怖いわー
小さな病気のうちなら大丈夫！早期発見・早期治療で、しっかり治療に当たります。

3. いくらで受診できるの？
健康診断の全額、ほとんどを助成金が補助します。最大助成金¥0,000円！

4. 母国がかかるんじゃないの？
特定健診は約1時間で終わります！

＜楽しいことに、食事や運動に気を使っても、避けられない病気があります。＞

（特定健診でわかる主な病気の表）

検査項目	主な病気
LDLコレステロール	動脈硬化症、脳卒中
HDLコレステロール	動脈硬化症、脳卒中
中性脂肪	動脈硬化症、脳卒中
α-GIT	アルツハイマー病、認知症
AST	脂肪肝、肝炎、肝臓病
ALT	脂肪肝、肝炎、肝臓病
尿糖	糖尿病
尿蛋白	糖尿病、腎臓病
血圧	高血圧症
空腹時血糖	糖尿病
HbA1c	糖尿病
尿潜血	腎臓病、尿路感染症
尿たんぱく	腎臓病、尿路感染症

特定健診は約1時間で終わります。約0,000円の検査を、0,000円で受けることができます。

▲勧奨資材サンプル

個別勧奨対象者リスト（例）▶
 受診を○、未受診を×で表記。
 更に、その他個別のデータも併せて
 人工知能で算出した受診確率と反応
 確率を各個人毎に表記した一覧。

名前	H26	H27	H28	H29	H30	受診確率	反応確率
Aさん	○	○	○	○	○	93%	+4.3%
Bさん	○	×	○	○	○	86%	+7.1%
Cさん	×	○	○	×	○	73%	+9.5%
Dさん	○	○	×	×	○	57%	+10.9%
Eさん	○	×	×	×	○	55%	+11.1%
Fさん	×	×	○	○	×	50%	+10.8%
Gさん	○	○	×	○	×	41%	+7.0%
Hさん	○	×	×	○	×	28%	+5.2%
Iさん	○	×	○	×	×	19%	+4.8%

能性が低くなると予想されるため、
 受診勧奨の対象として優先すべき
 はCさんからFさんの4名となり
 ます。人工知能を活用しない場合
 は、個人ごとの過去の受診履歴や
 国保加入時期などから、勧奨効果
 の高い不定期受診者や加入年数の
 浅い方を優先して勧奨対象者を抽
 出することで、効率的に受診勧奨
 を実施できます。

3. メッセージ開発

住民が受診のために必要とし、
 行動に結びつける情報は何か、行
 政の視点ではなく、インタビュー
 調査等を通じた市民感覚の勧奨資
 材を作成する必要があります。住
 民に対するインタビュー調査で
 は、自治体から配布される各種検
 診を知らせるチラシについて「情
 報が多く内容がわかりづらい」と
 いう声も聞かれています。受診行
 動を起こす「きっかけ」を与える
 ソーシャルマーケティングの活用
 により、義務感の醸成など健診受
 診を自分事化させるメッセージを
 グループごとに開発することに加

え、受診申込までの具体的なステッ
 プや健診日程、検査内容などをシ
 ンプルにわかりやすく視覚的に伝
 えることで効果が実証されていま
 す。前提として受診申込までの流
 れが複雑な場合（例…方法が多岐
 にわたる、自治体と医療機関の両
 方に申込が必要、等）は、資料へ
 掲載すべき方法の取捨選択なども
 検討が必要です。すぐに取り組め
 る資料改善の工夫としては、掲載
 する情報を最低限まで削減するこ
 と、情報に強弱をつけることなど
 が挙げられ、市章などを活用し「自
 治体からのお知らせ」であること
 を明確に示すことも、広告などと
 の差別化に有効です。

4. 次号に向けて

今号では、受診率向上のためのポ
 イントをお伝えしました。ぜひ、事
 業実施の参考にしていただければと
 思います。
 次号では、国の目標や方針に対し
 て、多くの自治体が抱えている課題
 とその解決策や事例についてご紹介
 します。

プロフィール

株式会社キャンサースキャン

ソーシャルマーケティング事業本部

増永 貴和

早稲田大学文化構想学部卒業。
 大手予備校職員、貿易関係の業務改善コンサルタントを経て
 現職。
 キャンサースキャンにて栃木県内をはじめ、各地の健康づく
 り支援に取り組む。



保健師 活動報告

市民が健康に暮らす市の実現に向けて ―健康教室と活動報告―

さくら市 健康増進課 保健師 柿沼 美穂

◆さくら市の概要

さくら市は平成17年3月28日、旧氏家町と旧喜連川町が合併し、誕生しました。栃木県中部のやや北東より、県都宇都宮市に隣接しており、賑やかな商業地と穏やかな自然を兼ね備えています。人口は4万4千18人（令和2年4月1日現在）で、年々減少傾向にあります。しかし、65歳以上の人口は増加傾向にあります。

市の医療費は、年々増加傾向にあり、医療費全体のうちの約4割が生活習慣病の治療に充てられています。（栃木県国民健康保険団体連合会「目で見る栃木県の医療費状況／平成30年度より」）

◆市の健康教室と目的

生活習慣病は、普段の生活習慣が原因で起こる疾病の総称で、誰もがかかる可能性のあるものです。食事、運動、睡眠、喫煙、飲酒、ストレス対処などについて、正しい知識を得て行動にうつすことが予防の第一歩ですが、近年の忙しい生活のなかで、生活習慣が乱れている人は少なくありません。

市で行う健診結果相談会でも、生活習慣病の原因となる血糖値や脂質値の高さについての相談の声が多く聞かえてきます。健康で長生きするためには、生活の中で何に気を付ければよいのか？市民の方と一緒に考え、悩みを解決する場として、ヘルスアップ教室と「親子ヘルスアップ教室」という健康教室を開催しました。

より良い生活習慣について理解を深め、実行することで、生活習慣病の発症や重症化を予防することを目指すとしています。

◆ヘルスアップ教室について

（令和元年度実施）

【対象者】市内在住の参加希望者（平成30年度の健診結果において、血糖値、脂質値、血圧、BMIのいずれかが基準値を上回っていた方に

は積極的に勧奨を実施。）

【活動内容】年2回開催

1. 生活習慣病について
2. バランスのよい食事についての話と調理実習
3. 自宅でできる運動の紹介と実践
4. 歯周病予防の話とブラッシング指導

【体制】保健師2名、管理栄養士1名、栄養士2名、歯科衛生士1名

ただ講話を聞くだけでなく、発言や実践をする参加型の教室としました。また、教室後にヘルスサポーター証を交付し、家族や地域の方へ、健康についての知識の普及啓発をお願いしました。

【活動報告】

参加者の大半は65歳以上の女性でした。参加者からは「健康には運動、食事、歯のケアが大切だと良く



◆親子ヘルスアップ教室について

(令和元年度実施)

【対象者】

生活習慣病には子どもの時からの生活習慣が大きく関わることから、小学生とその保護者を対象としました。

【活動内容】

夏休み中に合わせて開催し、対象は小学生と保護者の希望者となりました。11人のお子さんと6名の保護者の参加があり、賑やかな教室となりました。食事、運動、歯の健康などについて話を聞き、保護者の方と一緒に歯の正しいブラッシング方法を実践したり、身体を動かして遊んだり、調理実習を行いました。

【活動報告】

「自分で料理を作ったので美味し



分かった」「食事の適量や味付けについて良く分かった」「食事のバランスを考えながら作りたい」「室内でもコツコツ運動を続けたいと思った」「楽しく参加できた。また参加したい」などの感想が聞かれ、教室を楽しみながら、健康について理解を深められたようでした。実際に運動や、調理実習、試食により、知識だけではなく身をもって経験していただいたことで、自宅で続けることがイメージしやすかった様です。



かった」「ご飯をバランスよく食べようと思った」「親子で健康の話をできて良かった」「家でお父さんにも教えてあげたい」「楽しかった」との感想が聞かれ、家族で生活習慣について話し合う機会になったようです。また、夏休み中に教室を開催したことで、親子の関わり合いを増やしたり、休暇中の生活リズムの乱れを見直したりする、良いきっかけになったのではないかと思います。

◆今後の課題

平日に開催する健康教室では、比較的に高齢者の参加が多く、30～40歳代の働き世代のアプローチが課題となっています。今回は対象を親子とすることで30～40歳代の女性へのアプローチを図ることができたため、今後も周知方法やお誘いの仕方について、工夫していきたいと思っています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は教室自体が開催できない状況だったため、今後は感染症対策も考慮し、個人が好きな時に取り組めるようアプリ等を活用した事業展開も図る予定です。



【写真は筆者】

保険者 だより

しおや♡わくわく健活 ポイント事業

【塩谷町】

塩谷町では、令和2年7月1日から「しおや♡わくわく健活ポイント事業」を開始し、現在200名の方が参加しています。

ポイントは毎日の歩数、健診受診、体組成計の測定などの「健康づくり活動」と、健康教室やイベントへの参加などの「まちづくり活動」で貯めることができます。

ポイントを貯めるための仕組みは、①常に活動量計（歩数計）を持って歩くことと、②データを送信するための機器「リーダー」にタッチすることです。活動量計をリーダーにかざすことで、歩数やイベント参加のデータがインターネット上に送信され、そのデータに基づいてポイントが付与されます。

毎月15日と月末日に累計歩数やポイント数の確認、町からの健康づくりに関する情報をメール配信することで、参加者の皆様のモチベーションアップにつながっています。

持ち歩く



タッチする



データに基づきポイント付与



リーダーにタッチしたデータに基づき、ポイントが貯まります。ポイント数は、毎月15日と月末日にメールでお知らせします。

データ送信ができる活動量計を用いた事業です。



説明会は密を避けるため2部屋で行いました。



体組成計などの機器です。

ただいま こほ 最前線



蔵の妖精とち介推し！

わた なべ み ほの
渡 辺 実 萌

国保経験年数

1年8か月

栃木市
保険医療課 国保係

【私の街自慢】

自然豊かなところ、歴史ある文化が魅力です。ラムサール条約登録地の「渡良瀬遊水地」では自然を生かしたアクティビティが体験できます。古くからの建造物が並ぶ蔵の街を散策するのも楽しいです。マスコットキャラクターのとち介がかわいいのも個人的なポイントです。ぜひ遊びにいらしてください。

【趣味・特技】

女性アイドル（坂道）・登山

【健康法・ストレス解消法】

健康法は筋トレ・ウォーキングをしています。ストレス解消法は、おいしいものを食べてよく寝ることです。最近は料理のレパートリーを増やせるように勉強中です。食べすぎには気を付けたいです。

【国保事務を担当しての感想・意見など】

保険の知識が全くない状態で国保事務担当になったため、日々学びの連続で理解することに必死です。また、被保険者の方の生活に直接関連する業務のため責任を感じております。どんどん吸収してできることを増やしていきたいと思います。

【最近気になること】

スカイダイビングに挑戦したいと思っています！栃木市の渡良瀬遊水地でできるので、暖かくなったら行こうと思っています今から楽しみです。



ただいま
こくほ
最前線

韓国ドラマに夢中です

おお ね だ は づき
大 根 田 葉 月

芳賀町
住民課 国保年金係

国保経験年数
1年9カ月

【私の街自慢】

芳賀町は県内有数の梨の産地であり、また、町の西部には芳賀工業団地が整備され多くの優良企業が進出しているなど、農・工・商バランスのとれた町となっています。LRTの整備も進みさらなる発展をとげている芳賀町にぜひお越しください。

【趣味・特技】

最近タブレットを購入し、それで映画やドラマを観ることはまっています。特に韓国ドラマが好きで観始めると続きが気になり、つい夜更かしをしてしまいます。

【健康法・ストレス解消法】

休日に美味しいものを食べに出かけることがストレス解消法です。

【国保事務を担当しての感想・意見など】

高額療養費等の給付業務を担当しています。実際に業務を行うなかで、被保険者の方に保険給付がされるまでには様々な過程を経ていることを知りました。また健康保険は生活に身近な制度でありながら、実際に自分で手続きをするまでは分からないことも多くあるため、窓口に来る方に分かりやすく説明できるように制度への理解を深める勉強をこれからもしていきたいと思います。

【最近気になること】

韓国ドラマの影響で韓国料理が美味しそうで気になっています。いつかは本場の味を食べに行きたいです。



ただいま
こくほ
最前線

ワークライフバランスを
大切に！

お の ゆ か り
小 野 由 加 里

栃木県国民健康保険団体連合会
審査課 歯科担当

国保経験年数
10 か月

【私の担当部署紹介】

私の所属する審査課では、毎月医療機関から提出される診療報酬明細書の審査を行っています。非常に専門的な内容のため、点数表や手引き書をよく確認しながら請求内容を審査しています。

【趣味・特技】

旅行が趣味です。最近は新型コロナウイルスの影響であまり遠方へは行けていませんが、落ち着いたらオーロラをみに北欧かカナダに行きたいです！

【健康法・ストレス解消法】

自宅近くの栃木県総合運動公園でウォーキングしています。公園内には他にも運動している人がたくさんいるので、その中でウォーキングするとより健康意識が高まります！

【国保連合会に入会しての印象】

担当内・外で協力し合って業務に取り組んでいて和やかです。また、わからないことがあれば皆さん優しく丁寧に教えてくださいます。

【最近気になること】

観葉植物です。最近ウンベラータという植物を購入し、自宅で緑をみて癒されています。他にも丈夫で育てやすい植物を探しています！

リポート REPORT



令和2年10月13日（火）

国保事業の健全な運営を目指し、研修会を開催

令和2年度国民健康保険運営協議会委員研修会

於宇都宮市文化会館小ホール

研修会は、本会と栃木県国民健康保険

運営協議会会長（会長・中山富夫足利市

議会議員）との共催で、国民健康保険運

営協議会委員の国保に関する認識を深

め、県内国保事業の健全な運営に寄与す

ることを目的として、宇都宮市内で開催。

国民健康保険運営協議会委員及び関係職

員等111人が参加した。

また、今回は新型コロナウイルス感染

症の感染拡大予防として入口での検温や

消毒対応のほか、座席についても間隔を

取る対策を行っての開催となった。



▲主催者挨拶（代読）をする
栃木県国民健康保険団体連合会
篠崎 直樹 常務理事

保険者の共同目的達成機関としての責務

初めに、主催者挨拶として広瀬寿雄理

事長（下野市長）（代読＝篠崎直樹常務

理事）は、保険者努力支援制度について

ふれ、「本会の取り組みが、保険者機能

の強化、また、保険者努力支援制度の評

価に結びつくよう、今後もより一層、保

険者支援を充実させて参りたい」と述べ、

「保険者の共同目的達成機関としての責

務を十分に認識し、最大限の努力をして

いきたい」とした。

国保の健全な運営に努めていく

続いて、中山富夫会長は我が国の国民

健康保険の財政状況についてふれ、「収

納率の上昇はこれで8年連続となり、各

保険者においても相当なご尽力をいただ

いているところではあるが、近年の全国

で第46位という結果を踏まえると、引き

続き積極的な取り組みが求められること

ろ」と、現状の課題である財政難につい

て述べた。

また、来年3月より導入予定のマイナ

ナンバーカードを用いての医療機関等の窓

口利用について「今後、中間サーバー等

への加入者情報の登録作業や、個人を識

別するための二桁枝番付きの被保険者証

の発行を行うこととなっており、遺漏の

ないよう対応する必要がある」とし、国

保の健全な運営に努めていく考えである

とした。

収納率の向上や医療費の適正化など国保事業の安定的な運営に向け

来賓挨拶は栃木県保健福祉部国保医療

課課長山本正美氏が登壇。国民健康保険

制度を取り巻く状況について述べ、栃木

県国民健康保険特別会計の令和元年度



▲来賓あいさつする栃木県
保健福祉部 国保医療課
山本 正美 課長

決算状況は「医療費の増額に伴い療養給付費負担金の増額等によって歳入は1864億円と前年度比74億円増額となっており、歳出は保険給付費等の増額により1799億円と前年度比25億円増額となっている」と、差し引き65億円黒字となっていることを述べた。

また、今年度が最終年度となる栃木県国民健康保険運営方針について、「令和3年度から5年度までの運営方針を定めるにあたり、国からの策定要領を参考に市町や県運営協議会のみなさまの意見を踏まえ、運営方針を改定したい」と、国民健康保険が将来にわたり持続可能な制度となるよう収納率の向上や医療費の適正化など国保事業の安定的な運営に尽力していく考えを述べ、運営協議会の委員においては、市町の取り組みに理解と協

力を賜るようお願いした。

続いて、栃木県国民健康保険団体連合会理事長感謝状贈呈式を執り行った。国保の事業運営において長年にわたり尽力された方を表彰するもので、6名の国民健康保険運営協議会委員が受賞した。今回は出席した中山氏が登壇し、本会理事長より感謝状が贈呈された。

(受賞者は次のとおり)

栃木県国民健康保険団体連合会理事長感謝状贈呈者名簿			
	保険者名	職 名	氏名(※敬称略)
1	足 利 市	国民健康保険運営協議会委員	中山 富夫
2	大田原市	国民健康保険運営協議会委員	菊池 隆雄
3	市 貝 町	国民健康保険運営協議会委員	濱口佳奈子
4	野 木 町	国民健康保険運営協議会委員	上原 信録
5	那 須 町	国民健康保険運営協議会委員	阿久津一宏
6	那珂川町	国民健康保険運営協議会委員	谷田 伊代



▲表彰を受ける栃木県国民健康保険運営協議会会長 中山 富夫 会長
(足利市国民健康保険運営協議会委員)

人もまちも健幸になるつづ

講演は、国民健康保険運営協議会委員の国保に関する知識を深め、栃木県内国保事業の健全な運営に寄与することを目指すとしている。今回は講師として筑波大学人間総合科学学術院教授の久野譜也氏を招き「人もまちも健幸になるう」と題した講演が行われた。

前半は、昨今のイベント自粛など運動機会の減少による生活習慣病患者や要介護認定者の増加、被保険者の健康面への影響について。後半は、久野氏が提言するスマートウエルネスシティ構想を実践している保険者の実績及び研究データを基に、無関心層への働きかけの重要性、実施している事業の見直しの必要性について、実際の映像等を用いて講演があった。

健康づくりの重要性を学ぶことが出来る実りある研修となった。



保険料（税）徴収事務担当者

研修会（応用編）

令和2年9月30日（水） 本会9階大会議室において、保険料（税）の徴収事務に3～5年程度従事している担当市町職員を対象とした「令和2年度保険料（税）徴収事務担当者研修会（応用編）」を開催し、国民健康保険料（税）の徴収事務に従事する市町職員等28人が参加した。

今回の研修では、講師に特定非営利活動法人ローカルガバメント・ネットワーク理事長の堀博晴氏を迎え、「搜索から動産の公売まで」と題し、搜索について・動産の公売について・その他の具体的な事例についての3点を中心とした講義が行われた。



搜索について講義を行う堀氏

まず初めに、搜索の実施を躊躇する担当者に対して「最初は失敗を考え、消極的になってしまいうこともあると思います

が、搜索に失敗はありません」と話し、県内で搜索を実施している自治体は少ないが、積極的に行っていくべきものであることを訴えた。

堀氏は滞納者に対する対応や実際のインターネット公売の流れについて資料を基に、自身の経験談を交えながら説明し、搜索は国税徴収法第142条による相手の同意や令状がいらない強制調査であり、滞納者のためにも搜索は行うべきものであると強く訴えた。

受講者のアンケートでは「ノウハウを学ぶことができた」「今後は私たちが頑張らなければならない」との声が上がり、担当者にとって実りある研修会となった。

令和2年度療養費適正化研修会

令和2年11月30日（月） 本会9階大会議室において、市町・国保組合・後期高齢者医療広域連合・栃木県の療養費担当者30人が参加し、県による講義及び宇都宮市、真岡市の事例発表が行われた。

今回の研修は柔整及びあはき療養費の支給の適正化・標準化に向け、内容点検・患者調査の基準や実施方法に基づく不正請求対策等を情報共有することで今後の保険者における保険給付の適正な実施及び療養費の適正化を図ることを目的として行われた。

まず、栃木県保健福祉部国保医療課の福島係長、尾花主任、齋藤主任の3名が講師となり、「療養費支給の適正化に向けて」と題して、不正又は不当な請求事案への対応や柔道整復療養費の点検事務や制度の状況について講義いただいた。

その後、実際に保険者で行っている柔道整復療養費の点検方法について、宇都宮市と真岡市が事例を発表した。

宇都宮市の山口主任は、「独自に作成

している『柔整点検ファイル』を突合させ医科（外科・リハビリ・整形外科）で同一月に療養費の請求がある対象を絞り込み、併給点検を行っています」と話し、実際に行っている処理方法と併せて説明があった。

次に、真岡市の飯塚副主幹より、毎月実施している被保険者向けのアンケート（3ヵ月を超える長期継続で月15回以上の頻回傾向にある被保険者）の実施手法や工夫点、正しい受診の知識（考え方）のPRについて、具体的な事例を交えて説明があった。

他市町での取り組み情報を知ることができ、参加者からは「参考になった」「活用を検討する」との声もあがる研修会となった。

ホッとひと息 道の駅



“ホッとひと息 道の駅”では、地方の特色や個性が現れる栃木県内の道の駅をご紹介します。



今回は「保険者ルポ」で伺った佐野市にある「道の駅 どまんなか たぬま」に立ち寄りしました。日本列島の東西南北の基準点を線で結び、その線の交わる中心点が佐野市（旧田沼町）であることから「どまんなか たぬま」の名前がついたといいます。

道の駅内には物産展を始めとする飲食店が並び、2013年ゆるキャラグランプリで優勝した佐野市のご当地キャラクター「さのまる」が様々な場所に見受けられ、道の駅では記念撮影をしている人も多く、その人気の高さを実感しました。

また、施設内にはミニSLやふれあい広場、イタリアンガーデンなどがあり、子供から大人まで幅広い世代が楽しむことができる道の駅です。最近では、新型コロナウイルスの終息と医療従事者への敬意を示した「ブルー」がメインカラーとなったライトアップが行われております。

なお、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により使用はできませんが、足湯もあり運転の疲れを癒すことができるスポットにもなっています。

みなさま、ぜひお近くの道の駅にホッとひと息つきに訪れてみてはいかがでしょうか？



「道の駅 どまんなか たぬま」

営業時間 ≪本館≫ 9:30 ~ 18:00
定休日 毎週水曜日

※直売所等 8:00 ~、レストラン 10:00 ~と施設により営業時間が異なりますので詳しくはHPをご確認ください。



国保連合会からのお知らせ

国保税納付促進のための、シネアド上映（15秒CM）による広報を実施します。

《上映映画館》

- MOVIX宇都宮（宇都宮市インターパーク6丁目1-1）
- ユナイテッドシネマ アシコタウンあしかが（足利市大月町3-2）
- フォーラム那須塩原（那須塩原市豊浦字豊浦12-1 ビバモール那須塩原内）

《上映期間》

令和3年1月1日（金）～令和3年1月28日（木）まで



納付は
義務
です。

国民健康保険税

納めないと・・・

預貯金・給与などが
差し押さえとなる場合がある

病気やケガの際に医療機関での
支払いが全額自己負担となる



栃木の国保

VoL.71 2021.1/NEW YEAR

編集者 高橋 郁夫
発行者 栃木県国民健康保険団体連合会
〒320-0033 宇都宮市本町3番9号
☎028-622-7242
編集 伴印刷株式会社
〒320-0024 宇都宮市栄町6番10号
☎028-622-8901 / FAX 028-622-4525

編集後記

あけましておめでとうござ
います。

本年も引き続き皆様の興味
を惹くような機関誌づくりに
努めて参りたいと思ひますの
で宜しくお願いいたします。

さて、上記にお知らせしてお
りますとおり、1月よりシネア
ド上映が始まりました。

映画は配信サービスを利用し
て観ることの多い筆者ですが、
これを機に映画館に足を運びた
いと思ひます。

皆様も期間中、映画館を訪れ
ることがありましたら、映画開
始前のシネアドCMにも注目し
てみてください。

（T・S）